

レンガ棟豆知識

ねえ、ブック先生
レンガ棟のエントランスの
右側と左側って

外壁の様子が
ちがうんだよ

ほー

イチ子さん、
イチロウくん
よく気がつき
ましたねえ

じつはエントランスの
左右で建物をたてた
時代が違うんですよー

びよこっ

だれ?

おや、
キイチミ
くんでは
ないですか

エントランスの右側は
明治時代に、左側は
昭和初期に建設され
たんですー

へえー
よく似てるねー

左側は
後から造った
のねー

昭和期に建設
した部分

明治期に建設した部分

エントランス

明治の建物は
鉄骨補強のレンガ造りで
外壁もレンガ積み、
昭和の建物は
鉄筋コンクリートで外壁は
タイルをはっているの
ですー

実をいえば、
この建物は、もっと
もっと大きい
建物になるはずだっ
たんですよー

ほおー

明治期の建築

昭和期の建築

中庭

明治当初の建築計画 ※

明治当初の設計図はね、
ほら、中庭のある口
型の設計なんですー！

明治時代、
東洋一の図書館を
目指してたん
ですってー

実現していたら
こんな建物になっ
ていたはずですよー

明治期に計画
された全体計画
像図。彩色された部
分だけが最終的に実現
したところ。

わあー
大きい

明治の建物には正面の
ゴマ掛けレンガの他に

中庭側の白薬
掛けレンガ、

建物の内部構造
体の赤レンガ

とろつの種類が使わ
れているんですー

(3階の本のミュージアム
で見ることができます。)

レンガの積み方にも着目じゃよ
この図書館では、

フランス積み と イギリス積み

長手 長手 小口 小口

使われとるんじや

じゃあ、ちょっと
レンガ棟探検に行っ
てきまーす

まずは
3階に
行こー

※ 昭和期増築竣工パンフレットに収録された平面図。明治期の図面に書き足されている。